

(活動報告書様式)

団体名	最上川229ネットワーク		
事業名	最上川の生態系を学び肌で感じよう いざラフトボートに乗って漕ぎだせ！		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型）【テーマ：やまがたまちづくり活動支援事業】		
団体の 所在市町村	長井市	事業費	168,111円
		うち助成金額	164,200円



### ■事業目的

古来豊かな水産資源に恵まれ、これを生業にしていた沢山の住民が存在した歴史と文化を持つ大切な宝の最上川であるが、急速に川の汚染、外来種のブラックバス等の増殖により生態系が壊れ、鮎の不漁等も続いている。この歴史・文化と、今直面している環境の問題を肌で感じてもらう為、実際にラフトボートに乗って最上川に漕ぎ出す。これによって地域を、綺麗な環境を取り戻し魅力的な最上川の資源を活かし、次世代を担う若者・他の地域の方にも参加頂き、「自分たちのまちを自分たちでつくる」地域づくりを推進していく。

### ■実施内容

#### ①ラフトボート下りの実践

8月18日 最上川を実際に試走。乗船者5名、スタ

ッフ6名 で実施。

9月12日 本実施予定であったが、コロナ感染状況を鑑み止む無く中止。

②最上川の生態系・歴史・文化に関わる講演を実施。

○7月13日 蚕桑小学校4年生生態系に関する講演実施。

○12月12日 白鷹町文化交流センターで歴史・文化の講演実施。

■事業の成果及び今後の展望

#### ①事業の成果

今年度は、メインのラフトボートで最上川を実際に下る体験は、試走のみで終わってしまったため、最上川に直接肌で感じて頂いた方が非常に限られた人数になってしまった。

しかし、小学生2年生には生態系の講演が出来て、子供たちが気が付かなかった最上川の現状を少しでも

感じてもらえた。

また、歴史・文化講演は一般参加型で実施できた事により、大人の方に最上川の魅力を改めて感じて頂く事が出来た。

#### ②今後の展望

このように継続的な活動で、米沢・長井・白鷹・村山・大石田・尾花沢・新庄・庄内～酒田と最上川流域に関係する団体や個人との交流を更に強め、最上川に埋もれている資源を再確認すると共に環境にも関心を継続して持ってもらう。このような活動は、首都圏や他の地域に在住の方との繋がりも重視し、参加についても積極的に促し、最上川の名を全国に馳せる山形県の財産としていくことを目標としていきたい。